

第 106 回 FM 桐生番組審議会 議事録

- 1.開催年月日 令和 6 年 5 月 20 日 月曜日
- 2.開催場所 FM 桐生 3 階会議室（桐生市本町 5 丁目 365-1）
- 3.委員総数 8 名
出席委員数 4 名
出席委員の氏名 板橋英之、岡野紀子、小泉充、中村昌也、
欠席委員の氏名 飯野マリエ、豊田れい子、大澤善康、星野麻実
放送事業者側出席者名 坂田道信、天路ひとみ

4.議題（1）聴取番組について委員からの意見と提案

5.議事の概要

開会

挨拶

資料配布物の確認

次第・次回聴取番組 CD 『ことのはダイアログ』（令和 6 年 5 月 2 日（木）放送分）

報告事項

- ・新しい番組表、新番組の説明
- ・足利市のコミュニティ FM の開局準備について
- ・自社開発アプリ Shelfs について
- ・新型コロナウイルス感染症の動向など
- ・スタジオ機材老朽化に伴い、段階的に入れ替え作業中
- ・桐生八木節祭り特別番組放送を予定

次回開催日程 令和 6 年 7 月 1 日（月） 19：00～

6.審議内容

- ・放送日時：令和 6 年 3 月 7 日（木）21：00-21：59
- ・番組名：『J-RAP★PARADISE!!』
- ・放送形態：生放送
- ・番組内容：レペゼン群馬・上州 RIDAZZ つっちーによる J-RAP 専門番組
（とはいってもリスナーとみんなでワイワイ楽しくおしゃべりする、
1 時間の生放送番組です。）
- ・出演者：つっちー・つかさおにぎり・ゆき

（1）聴取番組について、委員からの意見

【委員】

- ・ラップという事であまり馴染みがなかったのですが、曲の説明など興味深く聞いた。つっちーさんのトークは少し荒さを感じましたが、それが独特で、テンポも良く、聞いていて楽しい番組でした。飲み屋での和気あいあいとした会話を切り取ったような番組なので、ファンの方も多いのではないかなと感じました。
- ・言葉遣いが汚くて前半 30 分しか聞くことができなかった。選曲はとても良かった。
- ・コミュニティ放送とはいえ、公共の電波なので言葉遣いには気をつけてほしい。
- ・初めて聞いた時は嫌悪感を持った番組ですが、メイン MC の方と接してみると良い人柄が分かり、本人独特の話術だということも分かる。
- ・リスナーが多く、反響も多い番組ということが聞いていて分かった。
- ・年齢によっては受け入れ難い番組。
- ・居酒屋トークみたいな番組だと思えばありな番組だが、合わない人は聞かないと思う。
- ・最初、何人いるのかよく分からなかったのも、初めて聞く人にもわかるように、自己紹介をきちんとして欲しかった。
- ・冒頭から 5 分頃、カチャカチャした音が聞こえたので気になった。

【回答】

- ・リスナーやスポンサーが多い人気番組ですが、より良い番組にしていきたくご審議いただきました。いただいたご意見を参考にして、番組の持ち味を生かして更に良い番組にしていきたい。
- ・県域放送局の生放送が無い時間帯ということもあり、この様にインタラクティブな番組を求めて FM 桐生を聞いているリスナーが多い。
- ・メイン MC のキャラクターが広い範囲で受けていて、注目度の高い番組なので、FM 桐生の代表番組のひとつとして今後も期待している。
- ・MC の人柄は良いが、ラジオのトークだけでは伝わりにくい部分もある。彼のファンだけが聞いているわけではないので、放送内でアシスタントがしっかりフォローする形がとれると良いと思う。
- ・他の番組でもご指摘いただいているが、誰が喋っているのか等の前提はしっかり伝える様に指導する。
- ・雑音は最近オペレーターが交代したばかりなので不慣れなのと、直前の番組から続けて同じスタジオで生放送しているので、混雑が有ったものと思われる。

【その他】

- ・スタジオのマイクが新しくなったので話しやすくなった。
- ・PBL 教育で市内企業に行った学生が、ラジオで話す機会があれば良いと思う。学生も積極的にラジオに参加してもらいたい。

- ・群馬大学の学生も良い思い出作りにもなるので参加してほしい。
- ・学生番組は固定のメンバーだけではなく、他の学生が参加できる枠があると良い。
- ・卒業したら終わりではなく、学生が出演出来る環境づくりができるよう、広報委員等と連携して続けて欲しい。

7.審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法 自社番組内での紹介、事務所への備置き、

自社ホームページ <http://www.fmkiryu.jp/>へ掲載

公表の内容 この書類と同様

公表年月日 送付日と同日

8.その他参考事項 特になし